

公務災害防止事業の推進

●●●●●●●● 「安全管理セミナー」を実施して ●●●●●●●●

千葉県 松戸市消防局

1 はじめに

松戸市は、都心から20km圏に位置し、千葉県の東葛飾地域（北西部）の一翼に位置しています。西は江戸川を境に東京都葛飾区、埼玉県三郷市と接し、南は市川市、東は鎌ヶ谷市、東から北にかけて柏市、流山市と接しています。地域面積は61.33km²で東西11.0km、南北は11.5kmと、ほぼヒシガタ状のひろがりとなっています。首都圏のベッドタウンとして現在49万余人の人口を有しています。

現在の消防体制は、市内を10区域に分け、1

局10消防署、職員数501名と1団10方面隊（36個分団）、団員数597名で組織された消防局・消防団が一体となった組織体制で、市民の安全確保を図るための火災予防の推進ならびに災害の防除等を積極的にすすめています。

2 セミナー実施に至るまでの経緯

今回の研修は、去る、平成22年1月31日、松戸消防局5階講堂で開催したものです。消防団長以下60名の消防団員と消防局消防団事務主管課職員4名の合計64名の参加でした。



野澤講師（右側）

この研修会は、年度当初の消防団年間行事予定には示していないものでありましたが、平成21年度6月から7月にかけてポンプ操法訓練中の公務災害が3件発生していることから、危機的状況と判断し、安全対策の一環として研修会の開催を急ぎょ計画した次第です。

3 セミナーを終えて

消防団員を対象に消防団活動全般の安全対策について講義を受けました。

安全対策は、先ず、一人ひとりが安全配意に対する心がけを強く保持すること。これが、事故防止の特効薬であると確信します。今後、団員に接する度、声に出し事故防止を働きかけ、公務災害ゼロを目指して参ります。

安全管理も含めて、現場の状況を的確に判断、理解できる人がどれだけいるかが組織の強さを

表すバロメーターであると考えています。災害現場での活動は、団員、職員を問わず、活動の時機を失してしまつては、任務の達成はできないということです。安全に的確に行動することが求められます。

4 今後の取組み

研修を終えてどのような意見・感想を持ったのか、参加した消防団員からアンケートの提出を受けました。それには「消防団活動の安全管理の重要性を再認識した。」「これまで団員の安全や健康について無頓着だったが、今後は真剣に取り組む必要がある」といった声が数多くありました。

自己が置かれている位置づけ、役割等を踏まえ、消防団活動をどのように考えるのか団員一人ひとりの胸のうちを引き出せるよう、私も担



受講者の様子

当として務めていきたいと考えています。

おわりに、この研修で学んだ消防団活動時の安全管理ということを通して消防団活動すべてについて団員の意識改革の動機づけがされることを期待しています。団員が地域社会に今「求められていること」、「出来ること」を自らが考

え、自立する消防団を確立させるための一つの手段として研修会を計画するなど、さまざまなことに今後も取り組んで参ります。もちろん、消防団活動時の安全管理にも積極的に取り組むこととしており、平成22年度は、S-KYT（消防団危険予知訓練）研修を計画しております。



研修の様子